



俳句

(2024)



目次

た べ も の 俳 句	モ ー ロ ク 俳 句	歳 時 記 俳 句
10 〈	5 〈	1 〈

3月の和名は「弥生」。「弥」はますます・いよいよという意味。「生」は生い茂る様子。

春が近付き、草木がいよいよ生い茂る様子・時期であることを表しています。

3月の異名は他にも、桜月（さくらづき）・花見月（はなみづき）・花月（かげつ）・夢見月（ゆめみつき）など、萌え出づる春の様子を表現したものばかり。年度替わりで何かと慌ただしい時期ではありますが、少し立ち止まって、自然の生命力に触れてみてはいかがでしょうか。

（宇佐美保幸）メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに

巢鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

まじまじと見られて散りし椿かな
男には嘆き底なし水温む

出遅れて晩学恥じず鼓草
ありんこがたんぽぽのはなのうえ
タンポポの綿毛を瓶にはなあそび
たんぽぽや宇宙旅行も現実に

学歴も才も不要とつくしんぼ
パンジーは子だくさんなり群れ遊ぶ

啓蟄や宇宙の果てはまた宇宙
初蝶が回覧板とともに来る
初蝶来小さき庭も華やきて

蝶の羽削りかつおと比べけり
蝶の恋生を堂々謳歌する
むきだしの命戦い蝶生まる



マスコミの行き過ぎ正義蝶ふわり

紋白蝶おのれ白しと狂い舞う

いそぎんちやく食べる島あり酒を酌む
カタクリは何を恥じ入る逆さ咲き

喜べる他人の幸せれんげ草

加齢せぬ年はないのか春が来る
目覚ましの音やわらかに春が来て
八甲田「雪の回廊」春告げる

いけぶくろう人も人待つ春の雨
東京や春に汚れて春の雨

何想う銀河衝突春の夢
オンシジウム一緒に踊る春の夢



コンビナート配管光る春の海
海に似たまぶしいおまえ春の波

春の空パソコン疲れ庭に出る
スカイツリー塔あそばせて春の空
春の空訓練厳しオスプレイ

加齢加齢後期高齢春巢鴨

老人も健脚ほこる春堤

少子化や産声忘れ春の波

まどろみ春本番と温暖化

春の音どの惑星より飛んでくる

らんまんの春はどこかに落とし穴

東京は人病んでいる桜咲く

桜咲く建売住宅建設中

廃校し人影もなく桜咲く

手術後のリハビリ散歩桜咲く



さくら咲くスニーカーが玄関に

これほどになぜ騒がれて初桜

温暖化桜前線乱気流
知る限り命限界初桜

朝散歩染井霊園朝桜

さくらさくら豆腐移動販売車
サクラ花世の中見つめつぶやける

山桜山に恐龍遺跡あり

つばくらめスマホ電波の合間縫い

芽柳や記憶の街の美観地区
雑念を振り払うごと辛夷咲く

猫の恋人人工知能理解して

春雷や弁才天もおののきて



鳥帰る帰る場所ありうらやまし

思つてもとどかぬ思ひ落椿
落椿雨にも負けず地に花を
見つめられ恥じらいすぎて椿落ち
落椿落ちたところにもまた落ちる
意味ありげされど単なる落椿
落椿その後その後を想いやる

春嵐性根据えねば飛ばされて
前線のいたずら多く春嵐
私たち「悪人」なのか春嵐
春満月染井霊園あの世あり



モロク俳句

モロクし三月生る雲の先
つくしんぼモロクすれば傍観す

それぞれの春やそれぞれモロクす
春ですな何度つぶやくモロクし
モロクし退屈な鼻されど春
モロクし春風さえもいやになる
モロクしあの世この世と春の日や
モロクし世間うるさしかなし春

黄水仙語り尽くしてモロクす
啓蟄をむかえモロクひきこもる

モロクしおぼろげ記憶牡丹雪
が鳴けどモロク暮れかぬる



ハクモクレンモーロク無縁花咲かす
白もくれん咲いてモーロク難聴に

金柑の一樹に猫もモーロクし
花辛夷風に濃淡モーロクす

菜の花の海におぼれてモーロクす
モーロクし宿借りとなる恐れあり

モーロクしこれは空耳蝶の歌
モーロクしそれぞれ蝶に変化する

モーロクし暗くこの世の春の空
モーロクし人生起伏涅槃かな
涅槃の日モーロクすれど働けと

葦雜炊モーロクすれど命惜し



モーロクし白魚飲みて生き返る

モーロクしこの世に戻る朝寝なり

モーロクし毎日日曜朝寝かな

モーロクし今更人生朝寝かな

「君が代」も忘れモーロク風光
とんがつてされどモーロク鳥雲に
鳥雲に入りてモーロク幻や

モーロクし食細くなり浅蜷汁

モーロクし己いさめる春の宵

モーロクし死にそびれたる春の星

初桜モーロクすすみくたぶれる

モーロクし生きる証に初桜

桜咲き哀しみ見えてモーロクす



モーロクしときめき足らず桜咲く

さくらさくらモーロクすれどまたさくら

モーロクしさくらの歌も忘れけり

モーロクし少しの未来桜咲く

モーロクし思い届かぬさくらかな

モーロクし枝垂れ桜を飽かず見る

モーロクし何はともあれ花見かな

桜闇モーロクすれば憎み合う

桜餅夢のかけらかモーロクす

茎立の雨にモーロク日は長し

茎立の雨にモーロク退屈し

茎立の雨はやさしくモーロクす



たべもの俳句

三月や炒りごまを播るごま和えを

ひな祭りいちご大福鎮座する
ひな祭りサーモンたっぷりちらし寿司

三月の朝の匂いの目玉焼

啓蟄やおたふくソース焼きそばで
啓蟄や具なし焼きそばシンプルに

具だくさんおかず味噌汁春野菜
青ぬたで味噌を味わう地酒かな

えびマヨにレタスタっぷり敷き詰めて
三月はあさりのうまみパスタかな



おつまみに香る生にららそばを
三月はゴマ油の香るネギ納豆

菜の花や菜の花づくし花菜漬
シヤキシヤキのワケギをぬたに辛子みそ
みずみずしわけぎとかまぼこ酢みそあえ

春キヤベツアンチヨビこくで春パスタ
春キヤベツにんにくパンチ炒め物

お彼岸に白玉団子自家製で
春大根おろしたつぷり朝ご飯

ほろ苦くセリたつぷりの牛井を
お彼岸にいちご大福ふたつ買う

目分量合わせ味噌溶く桜どき



桜咲くカオマンガイを炊飯器
スイッチポンカオマンガイを桜咲く

彩りの三色ご飯花粉症
花冷やおぼろ豆腐で豆腐チゲ

春キャベツ手羽元ほろりとポトフかな
春風や干物を試食干物買う

花寒にボリユームみそ汁厚揚げで
春野菜たっぷりチヂミマヨソース
春野菜ドレッシングをよく振って

春満月パソコン疲れ一人酒





